

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172900805		
法人名	北海道医療株式会社		
事業所名	グループホーム ハッピーヴィラしんまち		
所在地	北海道旭川市6条西1丁目1番2号 (電話) 0166-21-5353		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年11月11日	評価確定日	平成21年11月19日

## 【情報提供票より】(平成21年10月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年12月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,300円	その他の経費(月額)	27,900~32,550円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000円	

### (4) 利用者の概要(10月8日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	7名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 86歳	最低	73歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 吉田病院
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営する、総合施設の中の1ユニットのグループホームで、保育園児との交流や町内会行事参加等を通じて地元の人々との関係を大切に、地域に密着した活動を展開しています。また、本年は、地域交流会を実施して、家族や町内の人達に参加を呼びかけ、焼肉バーベキューやギターの弾き語りなど開催して地元の人々との交流を深める取り組みも行われています。戸外に出かける機会も多く作り、近隣のスーパーへの買い物や花壇で花を摘んだり、美瑛の丘でのラベンダー鑑賞や旭岳へのドライブなど気晴らしの支援が行われていたり、貼り絵などの作品を市主催の展覧会に出品するなど楽しみごとへの支援も行われています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、衛生面でのさらなる配慮について改善点が見出されていましたが、家族や来訪者への感染症対策の協力呼びかけや日常のヒヤリ・ハットへの取り組みで事故を未然に防ぎ効果をあげています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気付きや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、そこでの意見をケアサービスの質の向上に活かしています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され主な議題は 地域交流会の結果報告について 夜間を想定した火災避難訓練の実施について 救急救命講習会実施について スプリンクラー設置について ホーム主催行事と今後の予定について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関入り口に、「ご意見ボックス」を配置して、家族や来訪者等が意見や不満、苦情等を言い表せる機会を設けています。また、家族の来訪時には、健康状態や日常生活の様子など情報提供し、不安な点など話し合われ、それらの意見を運営に反映されています。「ハッピー新聞」を毎月発行して、日常生活の様子なども伝えられています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域的にマンションなどが多く地域との交流が難しい環境にありながら、本年は、地域交流会を実施して、家族や町内の人達に参加を呼びかけ、焼肉バーベキューやギターの弾き語りなどの開催や近隣の保育園児との交流、町内会の人達に火災避難訓練に参加していただく呼びかけが行われています。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「個人の尊重」を理念とし、管理者の独自性を活かしながら利用者の要望をできるだけかなえられるよう事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念について共有し、月の目標を職員会議で作り上げるなど理念と日々の生活の一致を目標に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域的にマンションなど多く地域との交流が難しい環境にありながら、本年は、地域交流会を実施して、家族や町内の人達に参加を呼びかけ、焼肉バーベキューやギターの弾き語りなどの開催や近隣の保育園児との交流、町内会の人達に火災避難訓練に参加していただく呼びかけが行われている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表を職員に事前配布し、まず各個で記入し、それを基にスタッフ会議で検討するなど、真摯な姿勢で気付きの機会として取り組んでいます。またケアサービスの質の向上に利用し日々の業務に活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されている。委員は、他の事業所の介護支援専門員、民生児童委員、家族、地域住民、管理者で構成され夜間を想定した火災避難訓練についてなど具体的内容について話し合われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所として、市との連携や関わりの必要性も理解し、地域交流会実施の相談や保健所の衛生管理の研修会参加などサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>工夫を凝らした「ハッピーヴィラ新聞」を毎月発行し、利用者の日常の暮らしぶりやホームでの行事参加の様子などを知らせている。また些細なことでも話してもらえぬ雰囲気をつくり、要望等には誠意を持って対応に努め、運営に反映させている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関入り口に、「ご意見ボックス」を配置して、家族や来訪者等が意見や不満、苦情等を言い表せる機会を設けています。また、来訪時には、健康状態や日常生活の様子など情報提供していると共に不安な点など話し合われ、それらの意見を運営に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低い。また、退職時には家族に説明し、また職員の異動などでは利用者にダメージを与えないよう工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会、在宅ケア学会や認知症の研修会には職員全員が参加している。また同系列施設の勉強会を開催するなどにより個々のスキルアップを日々実践している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、より高いサービスの提供を目指し、市内のみならず遠方まで出向き、同業者との交流を行っている。そのなかでネットワークを広め、サービスの質を向上させていく取り組みが行われている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>今までと同じ生活ができることを目指し、個別的対応を重視し、入居前には利用者・家族と面談を行い、本人が納得したうえでサービスが開始できるよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、料理や裁縫等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式を利用して、昔の暮らしや仕事・趣味等をきめ細かく把握し、思いや意向を出来るだけかなえるよう本人本位に検討している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、全ての職員の視点を入れ、アセスメント表に記入している。それらを基に担当者が立案し管理者や本人・家族との話し合いも行われ、それぞれの意見が反映された介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、3ヶ月毎の見直しを行っている。また24時間シートを2週間行ったうえで、職員による利用者の日常的な変化や思いを察し、新たな対応策など家族と話し合い、必要に応じたケアプランの見直しもしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院介助や集いへの参加など柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師や看護師が確保されている。また、月に一度、母体医療法人より往診があり、急変時にも適切な医療が受けられるよう体制が確立している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、重要事項説明書に明文化し、入所時に説明が行われている。また医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に話し合いながら慎重に対応していく取り組みを職員間で共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者それぞれの個性や生活歴を踏まえ、会話の中にもプライバシーを尊重した声かけがされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、出来る限り本人の希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事中は会話が多く、利用者と職員の家族的で和やかな雰囲気が感じられた。また、一人ひとりの力量に応じて、できることの準備に参加してもらっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週3回を目安に支援が行われ、安心・安全に入浴が楽しめるよう工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら本人の得意なことを見極め、個別性を大切にしている。その日の天気によっては当日にドライブを決めるなど、職員のチームワークを活かしながら、外出の機会を多くつくっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、日用品やオヤツなどの買い物に近くのスーパーへ出向いたり、堤防や常盤公園への散歩など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や玄関は施錠することなく、事故防止による利用者への目配りも行き届いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署職員や地域住民などにホームの防災に関する現状報告と地域連携における防災対策については話し合いをしている。また、避難訓練や救急救命訓練等も定期的に行っている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>法人の栄養士が献立をつくり、栄養バランスや摂取カロリー等が具体的数値で記載されている。また体調に合わせて水分・食事摂取における推移状況の把握なども職員間で共有している。</p>		<p>今後は、水分摂取量が一目で分かる記録の取り方の工夫が期待される。</p>
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関入り口は広く、貼り絵や行事参加の写真など飾られ家庭的雰囲気が感じられる工夫が行われている。また、リビングの外側に面した壁は一面が窓になっており、十分な採光と換気に考慮され、畳のスペースやソファが適度に配置され居心地良く過ごせる共有空間となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、使い慣れた家具や冷蔵庫などを持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。